



TITLE:

2003・2004年度前期研究活動報告

AUTHOR(S):

CITATION:

2003・2004年度前期研究活動報告. 資本と地域 2004, 1: 50-51

ISSUE DATE:

2004-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/66117>

RIGHT:

2003・2004 年度前期
研 究 活 動 報 告

大学院ゼミナール

【地域産業分析】

2003 年前期・後期

D.ハーヴェイ(松石勝彦ほか訳)『空間編成の経済理論』(上・下)大明堂、1990 年の講読

2004 年前期

尾崎芳治『経済学と歴史変革』、青木書店、1990 年の講読・研究報告

【経済学古典研究】

2003 年前期・後期

レーニン『ロシアにおける資本主義の発展』の講読・研究報告

2004 年前期

K.マルクス『資本論』第 1 巻の講読

地域経済研究会

2003 年 5 月 31 日(土)

大貝健二氏(京都大学研究生)

「高知県清酒製造業の現段階 ―歴史的変遷と独自化の歩み―」

関根佳恵氏(京都大学大学院)

「フィリピンにおけるマンゴーの生産・流通とアグリビジネス」

2003 年 9 月 13 日(土)

三輪仁氏(京都大学大学院)

「地方民間放送局の設立期について」

名和洋人氏(京都大学大学院)

「日吉ダム建設へいたる経緯と水源地域対策(仮)」

木原万樹子氏(京都大学大学院)

「戦後日本の教育財政改革～あるべき教育財政制度の模索のために～」

2003 年 11 月 15 日(土)

池田清氏(下関市立大学)

「地方自治の本質と課題」

織原泰氏(京都大学大学院)

書評：安藤光義著『構造政策の理念と現実』農林統計協会、2003 年

2004 年 1 月 24 日(土)

裴海軍氏(京都大学大学院)

「中国市場経済化の下での農業機械化の進展」

福士哲生氏(京都大学大学院)

「昭和期の市町村合併と地域経済・地方財政 ―静岡県富士市を例に―」

2004 年 3 月 27 日(土)

遠藤環氏(日本学術振興会特別研究員)

「フォーマルセクターからインフォーマルセクターへ? : タイにおけるグローバル化と女性労働者のライフコース」

水野直輔氏(日本 IBM 労働組合野洲分会委員長)

「日本 IBM のリストラと地域経済との関係について」

2004 年 5 月 15 日(土)

木原万樹子氏(京都大学大学院)

「義務教育行財政制度確立過程―1950 年代前半を中心に―」

豊福裕二氏(三重大学)

「最近の米国住宅産業の動向について」

2004 年 7 月 24 日(土)

高橋寛氏、宇都宮千穂氏、関根佳恵氏(京都大学大学院)

書評：暉峻衆三編著『日本の農業 150 年』有斐閣、2003 年

もくようの会

2003 年 4 月 16 日(水) 講読

ロバート・B・ライシュ(清家篤訳)『勝者の代償―ニューエコノミーの深淵と未来―』東洋経済新報社、2002 年

2003 年 4 月 24 日(木) 研究報告

森田敦郎氏(東京大学大学院)

「技術形成の人類学：東北タイ農業機械工場における労働と技能のエコロジー」

遠藤環氏(日本学術振興会特別研究員)

「グローバル化時代の発展途上国都市：バンコクにおけるコミュニティ調査準備経過報告」

2003 年前期 講読

P.ディッケン(宮町良広監訳)『グローバル・シフト』(上・

下)古今書院、2001 年

2003 年 11 月 21 日(木) 学会準備報告

遠藤環氏(日本学術振興会特別研究員)

「タイにおける都市インフォーマルセクター促進政策：都市貧困政策からの検証」

2003 年 11 月 28 日(木) 研究報告

徳永昌弘氏・名和洋人氏(京都大学大学院)

「今日のダム開発・水道事業をめぐる行財政問題―全国的傾向と京都府営水道のケース―」

裴海軍氏(京都大学大学院) 修士論文構想報告

「中国農業の機械化について」

蘇常智氏(京都大学大学院) 修士論文構想報告

「中国農業金融について」

2004 年 1 月 29 日(木) 書評

三重遷一氏 (京都大学大学院)

足立基浩ほか編『住宅問題と市場・政策』日本経済評論社、2000 年

2004 年 3 月 13 日(土) 書評・研究報告

宇都宮千穂氏 (京都大学大学院)

井上純一ほか著『東京 世界都市化の構図』青木書店、1990 年

三井逸友「大都市経済の構造変動」

山縣宏之氏 (日本学術振興会特別研究員)

「シアトルの産業構造転換と中小ソフトウェア企業群－1990 年代シアトルの産業構造転換要因」

2004 年 4 月 22 日(木) 研究報告

名和洋人氏 (京都大学大学院)

「日吉ダム建設のための要件－水源地域対策と事業費負担」

2004 年 5 月 27 日(木) 書評

大貝健二氏 (京都大学大学院)

ガバン・マコーマック(松居弘道・松村博訳)

『空虚な樂園』みすず書房、1998 年

2004 年 6 月 24 日(木) 研究報告

宇都宮千穂氏 (京都大学大学院)

「戦後京都市における銭湯と生活空間の変化」

2004 年 7 月 19 日(月) 書評

横川和穂氏 (日本学術振興会特別研究員)

ロバート・パットナム(訳)『哲学する民主主義』NTT出版、2001 年

2004 年 9 月 30 日(木) 研究報告

三重遷一氏 (京都大学大学院)

「京都の住宅問題－都心回帰とマンション居住－」

各種読書会開催記録

2003 年前期

K.マルクス『資本論』第 1 巻

W.Arther Lewis “Economic Development with Unlimited Supplies of Labour”

David Goodman and Michael Watts “Reconfiguring

the Rural of Fording the Dived?:Capitalist

Restructuring and the Global Agro-Food System

2004 年前期

暉峻衆三編著『日本の農業 150 年』有斐閣、2003 年

研究会実施報告

暉峻先生を囲む会

(2004 年 8 月 2 日開催)

2004 年 8 月 2 日 (月) 15 時から、京都大学に農業経済学者である暉峻衆三先生をお招きした研究会、「暉峻先生を囲む会」(以下、囲む会)が行われました。

当初は、院生数名の間で、昨年末に出版された『日本の農業 150 年』を輪読形式で読み進めていく読書会を行っていましたが、岡田先生の取り計らい、また暉峻先生が非常に御寛容でおられたことにより、読書会が終了する時期に「囲む会」を開催する機会に恵まれました。

「囲む会」は、時間的な都合上、あらかじめ院生の方で疑問点を整理したものを暉峻先生の方にお送りしておいたものに対して、当日先生の方からそれらの質問に関する事柄を踏まえられたレジュメに沿って解説いただくという形になりました。

わずかな時間でしたが、この研究会を通じて私達院生は、戦後日本の農業・食糧の何が問題なのかということについての理解を深めることができました。しかし、それよりも 80 歳という私達の 3 倍以上生きておられる先生が、研究者として歩き続けておられる姿勢から研究者とは何であるかということをはじめ、多く

のことを学んだように思います。

暉峻先生、遠いところを本当に有難うございました。

